

和裁造形 I

担当佐藤道子 和裁士学科1年

☆概要

和服造りの技術と知識を製作実習を通して学ぶ。
まずは運針から始め、和服はどのような組み合わせで作るのかを理解する為の必修科目である。

☆授業のねらい

基本アイテム（肌じゅばん・浴衣など）製作をとし和服造りの基本を学ぶようにする。今後の基礎となる。

☆目標

和裁の技術（柄合わせ・裁断・印付け・縫い方など）を理解し、身につけることを目指す。

☆授業計画

総授業時数 420 講義時数 120 実習時数 300

回数	授業内容	具体的内容(予習・復習等)
1週	《和裁基礎縫い》	復習:反復練習
2週		復習:反復練習
3週	《体型に合わせた採寸方》	復習:寸法の確認
4週	《肌じゅばん》 裁断・印付け	予習:生地・付属の準備
5週		復習:縫製の確認
6週		復習:セルフチェック
7週	《女物ゆかた》 柄合わせ・裁断・印付け	予習:生地・付属の準備
8週		復習:縫製の確認
9週		復習:残った作業を進める
10週		復習:残った作業を進める
11週		復習:残った作業を進める
12週	仕上げ	復習:セルフチェック
13週	《男物ゆかた》 柄合わせ・裁断・印付け	予習:生地・付属の準備
14週		復習:縫製の確認
15週		復習:残った作業を進める
16週		復習:残った作業を進める
17週		復習:セルフチェック
18週	《オリジナル作品》 デザイン考案・素材選択	予習:生地・付属の準備・デザイン考案
19週		復習:縫製の確認
20週		復習:縫製の確認
21週		復習:縫製の確認
22週		復習:残った作業を進める
23週		復習:残った作業を進める
24週		復習:残った作業を進める
25週		復習:残った作業を進める
26週		復習:残った作業を進める
27週		復習:セルフチェック
28週	《技術検定用肌じゅばん》 裁断・印付け	
29週		縫製
30週	《女物はかま》 裁断・印付け	予習:生地・付属の準備
31週		復習:縫製の確認
32週		復習:残った作業を進める
33週		復習:残った作業を進める
34週		復習:セルフチェック
35週	まとめ	復習:授業の整理・まとめ

☆フィードバックの方法

作業段階ごとに個別に点検・指導を行う。提出課題には添削・採点后返却し解説を行う。

☆成績評価の方法・基準

授業態度	30 %
課題	40 %
試験結果	25 %
検定試験	5 %
企業研修	—

出席日数が2/3に満たない場合及び提出物が未了の場合は、再履修とする。
授業の取り組み、課題の完成度などによる総合評価とする。

☆教科書及び参考文献

和裁（初級編）

☆オフィスアワー

水・木・金13時10分～16時20分：20D教室
佐藤道子担当(実務経験あり)授業時数420時間

☆備考

日程及び授業内容は変更することもある。

デザイン画 I

担当鈴木英子 和裁士学科1年

☆概要

人体や基本的な表現方法を、クロッキーなどで理解し、人体のプロポーション・顔・手・足などの描き方、又色彩による素材・柄・質感立体的な表現方法など基本的なデザイン画の描き方を学ぶ。必修科目である。

☆授業のねらい

服飾デザイン画の基礎知識である色彩・形態・構成などを講義と演習で学び、美的選択眼と構成力を習得する。

☆目標

人体と衣服の関連を把握し、デザインの構造線を正確に描くことができるようにする。

☆授業計画

総授業時数 140 講義時数 40 実習時数 100

回数	授業内容		具体的内容(予習・復習等)
1回	基本となるプロポーション (8頭身の描き方)	デッサン10分	復習:反復練習
2回	顔のプロポーション・手の描き方	デッサン10分	復習:反復練習
3回	水着のデザイン	デッサン10分	予習:デザインリサーチ
4回	ポーズのバリエーション①	デッサン10分	復習:反復練習
5回	ポーズのバリエーション②	デッサン10分	復習:反復練習
6回	ポーズのバリエーション③	デッサン10分	復習:反復練習
7回	材質表現(ウール・チェック柄)	デッサン10分	予習:素材リサーチ
8回	材質表現(透ける素材)	デッサン10分	予習:素材リサーチ
9回	材質表現(毛皮)	デッサン10分	予習:素材リサーチ
10回	袴のデザインバリエーション	デッサン10分	復習:反復練習
11回	袖のデザインバリエーション	デッサン10分	復習:反復練習
12回	テーマデザイン テーマ「動植物」	デッサン10分	予習:デザインリサーチ
13回	テーマデザイン テーマ「自然現象」	デッサン10分	予習:デザインリサーチ
14回	アイテム図の描き方	デッサン10分	復習:反復練習
15回	SMSDデザインショー デザイン画	デッサン10分	予習:デザインリサーチ
16回	デザイン発想 テーマ「ワッペン」企画立案・アイデア展開	デッサン10分	予習:資料収集
17回	コンセプト決定・デザイン案展開	デッサン10分	復習:残った作業を進める
18回	素材・構造検討	デッサン10分	復習:残った作業を進める
19回	デザイン決定・レンダリング	デッサン10分	復習:残った作業を進める
20回	ボード作成・プレゼン	デッサン10分	復習:作品の見直し
21回			各自の進行状況に合わせる
22回	特別授業(展示会&ショーのため)		復習:残った作業を進める
23回	オリジナル作品制作		復習:残った作業を進める
24回			復習:残った作業を進める
25回			復習:残った作業を進める
26回	《パネル作品》 パネル水貼り・デザイン考案	デッサン10分	予習:資料収集
27回	アイデア展開	デッサン10分	復習:残った作業を進める
28回	コンセプト決定・デザイン案展開	デッサン10分	復習:残った作業を進める
29回	デザイン決定・レンダリング	デッサン10分	復習:残った作業を進める
30回	パネルに下描き	デッサン10分	復習:残った作業を進める
31回	パネル着彩	デッサン10分	復習:残った作業を進める
32回	パネル着彩	デッサン10分	復習:残った作業を進める
33回	パネル着彩	デッサン10分	復習:残った作業を進める
34回	パネル着彩	デッサン10分	復習:残った作業を進める
35回	まとめ・合評開		復習:作品の振り返り

☆フィードバックの方法

各作品添削の際に、コメントやアドバイスを記入して、次回以降の授業で返却する。

☆成績評価の方法・基準

授業態度	30 %
課題	70 %
試験結果	—
検定試験	—
企業研修	—

出席日数が2/3に満たない場合及び提出物が未了の場合は、再履修とする。授業の取り組み、課題の完成度などによる総合評価とする。

☆教科書及び参考文献

服飾関連専門講座④ ファッションデザイン画
GAP、各種ファッション雑誌

☆オフィスアワー

月曜日13時10分～16時20分：20D教室
鈴木英子担当

☆備考

日程及び授業内容は変更することもある。

色彩学

担当鈴木英子 和裁士学科1年

☆概要

色が溢れている現代世の中で、身近な表現手段の1つである色彩に親しみ、色として見える仕組み・カラーコミュニケーションの主な方法・色彩の実用価値と効果を知り色彩を有効に活用するための基本的な知識を身につける必修科目である。

☆授業のねらい

色の持つ物理的側面・心理的側面・デザインの側面を、講義形式による理論の説明と共に、カラーカードを用いた演習を行い色彩の基礎を習得する。

☆目標

「色彩検定3級」の取得を目標とする。

☆授業計画

総授業時数 35 講義時数 20 実習時数 15

回数	授業内容	具体的内容(予習・復習等)
1回	色が見える仕組み① 光について	予習:教科書を確認
2回		予習:教科書を確認
3回	色が見える仕組み② 物体について	予習:教科書を確認
4回		予習:教科書を確認
5回	色が見える仕組み③ 視覚について	予習:教科書を確認
6回		予習:教科書を確認
7回	混色の原理 加法混色・減法混色	予習:教科書を確認
8回	混色の原理 中間混色について	予習:教科書を確認
9回	色の表示方法① 慣用色名、系統色名で伝える	予習:教科書を確認
10回		予習:教科書を確認
11回	色の表示方法② 色の三属性で伝える	予習:教科書を確認
12回		予習:教科書を確認
13回	色の表示方法③ PCCSを理解する	予習:教科書を確認
14回		予習:教科書を確認
15回	色の知覚的効果① 色対比、面積効果など	予習:教科書を確認
16回		予習:教科書を確認
17回	色の知覚的効果②	予習:教科書を確認
18回		予習:教科書を確認
19回		各自の進行状況に合わせる
20回	特別授業(展示会&ショーのため)	復習:残った作業を進める
21回	オリジナル作品制作	復習:残った作業を進める
22回		復習:残った作業を進める
23回		復習:残った作業を進める
24回	色の心理的効果	予習:教科書を確認
25回		予習:教科書を確認
26回	色彩調和① 色相から配色を考える	復習:残った作業を進める
27回		復習:残った作業を進める
28回	色彩調和②	復習:残った作業を進める
29回		復習:残った作業を進める
30回	色彩調和③	復習:残った作業を進める
31回		復習:残った作業を進める
32回	色彩調和④ トーンから配色を考える	復習:残った作業を進める
33回		復習:残った作業を進める
34回	色彩調和⑤ 配色の基本的な技法	復習:残った作業を進める
35回		復習:残った作業を進める

☆フィードバックの方法

授業の中で質問に答えて、その都度解決していく。

☆成績評価の方法・基準

授業態度	30 %
課題	40 %
試験結果	25 %
検定試験	5 %
企業研修	—

出席日数が2/3に満たない場合及び提出物が未了の場合は、再履修とする。
授業の取り組み、課題の完成度などによる総合評価とする。

☆教科書及び参考文献

色彩検定公式テキスト

☆オフィスアワー

木曜日09時00分～09時45分：20D教室

鈴木英子担当

☆備考

日程及び授業内容は変更することもある。

素材学

担当鈴木英子 和裁士学科1年

☆概要
繊維、糸、織物、編み物等アパレル素材の基本的な知識を学び、服地の特性や、効果、用途を知る為の必修科目である。

☆授業のねらい
衣服材料の基礎的知識の習得により、衣服の設計・製作において、目的に応じた適切な素材の選択ができる。

☆目標
基本素材の特性・用途を理解し、素材ごとの欠点、注意点、加工の仕方によるメリット・デメリットを習得しアパレル素材の知識を深める。

☆授業計画

総授業時数 70 講義時数 40 実習時数 30

回数	授業内容	具体的内容(予習・復習等)
1回	素材(テキスタイル)とは	復習:授業内容を整理しまとめる
2回	織物の種類	復習:授業内容を整理しまとめる
3回	組織の分類	復習:授業内容を整理しまとめる
4回	三原組織 平織り	復習:授業内容を整理しまとめる
5回	三原組織 綾織り	復習:授業内容を整理しまとめる
6回	三原組織 朱子織り	復習:授業内容を整理しまとめる
7回	変化組織	復習:授業内容を整理しまとめる
8回		復習:授業内容を整理しまとめる
9回	特別組織	復習:授業内容を整理しまとめる
10回		復習:授業内容を整理しまとめる
11回	混合組織	復習:授業内容を整理しまとめる
12回		復習:授業内容を整理しまとめる
13回	重ね組織	復習:授業内容を整理しまとめる
14回		復習:授業内容を整理しまとめる
15回	綿糸について	復習:授業内容を整理しまとめる
16回		復習:授業内容を整理しまとめる
17回	獣毛について	復習:授業内容を整理しまとめる
18回		復習:授業内容を整理しまとめる
19回	絹織物について	復習:授業内容を整理しまとめる
20回		復習:授業内容を整理しまとめる
21回		各自の進行状況に合わせる
22回	特別授業(展示会&ショウのため)	復習:残った作業を進める
23回	オリジナル作品制作	復習:残った作業を進める
24回		復習:残った作業を進める
25回		復習:残った作業を進める
26回	生地見本帳作り No. 1~7	復習:残った作業を進める
27回	生地見本帳作り No. 8~14	復習:残った作業を進める
28回	生地見本帳作り No. 15~21	復習:残った作業を進める
29回	生地見本帳作り No. 22~28	復習:残った作業を進める
30回	生地見本帳作り No. 29~36	復習:残った作業を進める
31回	生地見本帳作り No. 37~43	復習:残った作業を進める
32回	生地見本帳作り No. 44~50	復習:残った作業を進める
33回	繊維の燃焼実験・繊維の分類	復習:実験内容をまとめる
34回	顕微鏡による織物の細部観察	復習:実験内容をまとめる
35回	まとめ	

☆フィードバックの方法
授業内で不明点があれば、その場で対応する。提出課題には添削・採点後返却し解説を行う。

☆成績評価の方法・基準

授業態度	30 %
課題	40 %
試験結果	25 %
検定試験	—
企業研修	—

出席日数が2/3に満たない場合及び提出物が未了の場合は、再履修とする。
授業の取り組み、課題の完成度などによる総合評価とする。

☆教科書及び参考文献
服飾関連専門講座①アパレル素材論

☆オフィスアワー
火曜日13時10分~14時40分: 20D教室
鈴木英子担当

☆備考
日程及び授業内容は変更することもある。

手芸

担当加藤光子 和裁士学科1年

☆概要

ファッションコーディネートに欠かすことの出来ないものには装飾手段(刺繍・プリントETC)・ファッション小物(帽子・手袋・靴ETC)アクセサリー(ネックレス・リング・ブローチETC)などたくさんあります。その中からいくつかを選び 実際に作成することで各アイテムのデザイン力・素材の選び方・用途に応じる工夫・目的に沿ったもの作りと様々な想いに対応できる能力を身につけるために必要とする必修科目である。

☆授業のねらい

コーディネートテクニックの一つとして自分で作る事の出来るアクセサリー等の基本的な知識と作り方・テクニックを学ぶ。

☆目標

広い視野で様々な情報をキャッチしながらファッションをトータルに表現出来る技術を身につける。

☆授業計画

総授業時数 140 講義時数 40 実習時数 100

回数	授業内容	具体的内容(予習・復習等)
1回	《こぎん刺し・ぼうし》	予習:生地・附属の準備
2回		復習:残った作業を進める
3回		復習:残った作業を進める
4回		予習:デザインリサーチ
5回		復習:残った作業を進める
6回		予習:生地・附属の準備
7回		復習:残った作業を進める
8回		復習:残った作業を進める
9回		復習:残った作業を進める
10回		復習:残った作業を進める
11回	仕上げ	復習:セルフチェック
12回	《デザイン刺繍シャツ》	予習:デザインリサーチ
13回		復習:残った作業を進める
14回		復習:残った作業を進める
15回		復習:残った作業を進める
16回		復習:残った作業を進める
17回		復習:残った作業を進める
18回		復習:残った作業を進める
19回		復習:セルフチェック
20回	特別授業(展示会・ショーのため) オリジナル作品製作	各自の進行状況に合わせる
21回		復習:残った作業を進める
22回		復習:残った作業を進める
23回		復習:残った作業を進める
24回		復習:残った作業を進める
25回	復習:残った作業を進める	
26回	《カジュアルネクタイ》	予習:パターン用紙等の準備
27回		予習:生地・附属の準備
28回		復習:残った作業を進める
29回		復習:残った作業を進める
30回	仕上げ	復習:セルフチェック
31回	《シルバーアクセサリー》	予習:デザインリサーチ
32回		予習:材料を準備する
33回		復習:残った作業を進める
34回		復習:残った作業を進める
35回		仕上げ

☆フィードバックの方法

作業段階ごとに個別に点検・指導を行う。提出課題には添削・採点后返却し解説を行う。

☆成績評価の方法・基準

授業態度	30 %
課題	70 %
試験結果	—
検定試験	—
企業研修	—

出席日数が2/3に満たない場合及び提出物が未了の場合は、再履修とする。授業の取り組み、課題の完成度などによる総合評価とする。

☆教科書及び参考文献

コーディネートテクニックアクセサリー編

☆オフィスアワー

金曜日 13時10分～16時20分: 20F教室
加藤光子担当

☆備考

日程及び授業内容は変更することもある。

コーディネート演習

担当佐藤道子 和裁士学科1年

☆概要

なかなか短期間のshop研修はできないが、グループ企業のshop「harmy hudson」では、他の授業に影響がない時間帯でインターシップ（shop研修）を経験する。お客様との接し方、コーディネート提案力、商品知識を身につけるために必要な必須科目である。

☆授業のねらい

現場体験を通して、実践的なスキルを学ぶ。

☆目標

専門的スキルとコミュニケーション能力を身に付けることを目指す。

☆授業計画

総授業時数 140 講義時数 20 実習時数 120

回数	授業内容	具体的内容(予習・復習等)
1回	《接客について》	あいさつの基本
2回		立ち振る舞い
3回		心構え
4回		表情(顔・目・口元・笑顔)
5回		会話
6回		ご案内
7回		接客用語
8回	《商品の把握》	商品の種類と名称をおぼえる
9回		商品の種類と名称をおぼえる
10回	《セールスコーディネート》	SHOPの商品をコーディネート
11回		SHOPの商品をコーディネート
12回		SHOPの商品をコーディネート
13回		SHOPの商品をコーディネート
14回		SHOPの商品をコーディネート
15回	《ポップ作成》	イベント用
16回		セール用
17回		etc...
18回	特別授業(展示会・ショーのため) オリジナル作品製作	各自の進行状況に合わせる
19回		復習:残った作業を進める
20回		復習:残った作業を進める
21回		復習:残った作業を進める
22回		復習:残った作業を進める
23回	《SNSプロモーション》	SNS発信方法
24回		SNS発信方法
25回		写真の撮り方
26回		写真の撮り方
27回		SNS発信
28回		SNS発信
29回	《在庫管理》	数え方・数の把握
30回		数え方・数の把握
31回		新商品の受け入れ
32回		値札付け
33回	《ラッピング》	ラッピングテクニック
34回		リボンのかけ方・結び方
35回		応用ラッピング

☆フィードバックの方法

授業の中で質問に答えて、その都度解決していく。

☆成績評価の方法・基準

授業態度	30 %
課題	—
試験結果	—
検定試験	—
企業研修	70 %

出席日数が2/3に満たない場合及び提出物が未了の場合は、再履修とする。
授業の取り組み、課題の完成度などによる総合評価とする。

☆教科書及び参考文献

なし

☆オフィスアワー

水曜日 13時10分～16時20分 : harmy hudson Shop
佐藤道子担当授業時数70時間

☆備考

日程及び授業内容は変更することもある。

きつけ I

担当佐藤道子 和裁士学科1年

☆概要
きつけの基礎知識、基礎技術を学ぶ必修科目である。

☆授業のねらい
きつけを通し、着装の本質を理解する。

☆目標
着物をひとりで、早く・美しく着ることが出来るようになる。

☆授業計画

総授業時数 70 講義時数 20 実習時数 50

回数	授業内容	具体的内容(予習・復習等)
1回	《着付けについて(自装)》	きものの種類と帯結び
2回		本を読んで説明する
3回		本を読んで説明する
4回		本を読んで説明する
5回	《ゆかたの着方(自装)》	下着の付け方と補整
6回		ゆかたの着方
7回		ゆかたの着方
8回		ゆかたの着方
9回	《半幅帯の結び方(自装)》	文庫結び
10回		文庫結び・変形各種
11回		文庫結び・変形各種
12回		文庫結び・変形各種
13回		文庫結び・変形各種
14回	《ゆかたを着装から帯結びまで(自装)》	ひとりで着装・文庫結び
15回		ひとりで着装・変わり文庫結び
16回		ひとりで着装・変わり文庫結び
17回		ひとりで着装・オリジナル結び
18回		各自の進行状況に合わせる
19回	特別授業(展示会・ショーのため)	復習:残った作業を進める
20回	オリジナル作品製作	復習:残った作業を進める
21回		復習:残った作業を進める
22回		復習:残った作業を進める
23回	《長襦袢の着方(自装)》	下着の付け方と補整
24回		長襦袢の着方
25回		長襦袢の着方
26回	《ふだん着の着方(自装)》	長襦袢までひとりで着る
27回		ふだん着(紬など)
28回		ふだん着(紬など)
29回		ふだん着(紬など)
30回	《名古屋帯の結び方(自装)》	お太鼓結び(全通し柄)
31回		お太鼓結び(六通柄)
32回		お太鼓結び(お太鼓柄)
33回	《ふだん着を着装から帯結びまで(自装)》	ひとりで着装・帯結び
34回		ひとりで着装・帯結び
35回		ひとりで着装・帯結び

☆フィードバックの方法
授業の中で質問に答えて、その都度解決していく。作業段階ごとに個別に点検・指導を行う。

☆成績評価の方法・基準

授業態度	30 %
課題	70 %
試験結果	—
検定試験	—
企業研修	—

出席日数が2/3に満たない場合及び提出物が未了の場合は、再履修とする。
授業の取り組み、課題の完成度などによる総合評価とする。

☆教科書及び参考文献
実技教本

☆オフィスアワー
月曜日 14時50分～16時20分:20A教室
佐藤道子担当(実務経験あり)授業時数70時間

☆備考
日程及び授業内容は変更することもある。

ディスプレイ I

担当鈴木英子 和裁士学科1年

☆概要
ショーウィンドウを使用して、空間演出の基礎知識から売り場のディスプレイ・展示会ディスプレイなど実践的に学ぶ。
ディスプレイは人を惹きつけるための要素である。よってアパレルにはなくてはならない知識であるため必修科目である。

☆授業のねらい
ディスプレイプランを忠実に表現するためのディスプレイテクニックを身につける。

☆目標
ディスプレイ実習のプランニングから演出小道具制作・ショーイングまでをグループごとに分業、共同作業を行い完成させることができる。

☆授業計画

総授業時数 140 講義時数 15 実習時数 125

回数	授業内容	具体的内容(予習・復習等)
1回	ディスプレイ① 春用にチェンジ ディスプレイについて説明	復習:ディスプレイを見直す
2回	《ディスプレイ②》初夏 企画立案、アイデア展開	予習:テーマにもとづいて資料集め
3回		復習:残った作業を進める
4回	デザイン決定	復習:残った作業を進める
5回		復習:残った作業を進める
6回	ディスプレイ② 初夏にチェンジ	復習:ディスプレイを見直す
7回	《ディスプレイ③》夏 企画立案、アイデア展開	予習:テーマにもとづいて資料集め
8回		復習:残った作業を進める
9回	デザイン決定	復習:残った作業を進める
10回		復習:残った作業を進める
11回	ディスプレイ③ 夏にチェンジ	復習:ディスプレイを見直す
12回	《ディスプレイ④》秋 企画立案、アイデア展開	予習:テーマにもとづいて資料集め
13回		復習:残った作業を進める
14回	デザイン決定	復習:残った作業を進める
15回		復習:残った作業を進める
16回	ディスプレイ④ 秋にチェンジ	復習:ディスプレイを見直す
17回	《ディスプレイ⑤》冬 企画立案、アイデア展開	予習:テーマにもとづいて資料集め
18回		復習:残った作業を進める
19回	デザイン決定	復習:残った作業を進める
20回		復習:残った作業を進める
21回	特別授業(展示会&ショーのため) オリジナル作品制作	各自の進行状況に合わせる
22回		復習:残った作業を進める
23回		復習:残った作業を進める
24回		復習:残った作業を進める
25回		復習:残った作業を進める
26回	ディスプレイ⑤ 冬にチェンジ	復習:ディスプレイを見直す
27回	《ディスプレイ⑥》梅春 企画立案、アイデア展開	予習:テーマにもとづいて資料集め
28回		復習:残った作業を進める
29回	デザイン決定	復習:残った作業を進める
30回		復習:残った作業を進める
31回	ディスプレイ⑥ 梅春にチェンジ	復習:ディスプレイを見直す
32回	《ディスプレイ①》春 企画立案、アイデア展開	予習:テーマにもとづいて資料集め
33回		復習:残った作業を進める
34回	デザイン決定	復習:残った作業を進める
35回		復習:残った作業を進める

☆フィードバックの方法
授業の中で質問に答えて、その都度解決していく。

☆成績評価の方法・基準

授業態度	30 %
課題	70 %
試験結果	—
検定試験	—
企業研修	—

出席日数が2/3に満たない場合及び提出物が未了の場合は、再履修とする。
授業の取り組み、課題の完成度などによる総合評価とする。

☆教科書及び参考文献

ディスプレイノート

☆オフィスアワー

月曜日09時00分～12時10分:20D教室

鈴木英子担当

☆備考

日程及び授業内容は変更することもある。

和裁造形Ⅱ

担当佐藤道子 和裁士学科2年

☆概要

和服造りの応用段階に入り、各アイテムの素材、用途に適した和裁テクニックを学ぶ重要な科目であり、必修科目である。

☆授業のねらい

高度な技術を必要とするあわせ長着等の製作をとおり、縫製技術、柄や模様合わせまで学び、理解する。

☆目標

和服作りを理解し、オールマイティーな知識と技術を身に付けることを目指す。

☆授業計画

総授業時数 595 講義時数 180 実習時数 415

回数	授業内容	具体的内容(予習・復習等)
1週	《女物アンサンブル・長着》 見積もり 柄合わせ裁断・印付け 縫製(袖) 縫製(身頃) 縫製(身頃) 縫製(衿・袖付け) 仕上げ	予習:寸法の確認
2週		予習:生地・附属の準備
3週		復習:縫製の確認
4週		復習:縫製の確認
5週		復習:縫製の確認
6週		復習:縫製の確認
7週		復習:セルフチェック
8週	《女物アンサンブル・羽織》 見積もり 柄合わせ裁断・印付け 縫製(袖・身頃) 縫製(衿・袖付け) 仕上げ	予習:寸法の確認
9週		予習:生地・附属の準備
10週		復習:縫製の確認
11週		復習:縫製の確認
12週		復習:セルフチェック
13週	《女物じゅばん》 見積もり・裁断・印付け 縫製(袖・身頃) 縫製(衿・袖付け・半衿付け) 仕上げ	予習:寸法の確認・生地・附属の準備
14週		復習:縫製の確認
15週		復習:縫製の確認
16週		復習:セルフチェック
17週	《オリジナル作品》 デザイン考案・素材選択 部分縫い(装飾等) 裁断・印付け 縫製 縫製 縫製 縫製 装飾等 装飾等 仕上げ	予習:生地・附属の準備
18週		復習:残った作業を進める
19週		復習:残った作業を進める
20週		復習:縫製の確認
21週		復習:残った作業を進める
22週		復習:残った作業を進める
23週		復習:残った作業を進める
24週		復習:残った作業を進める
25週		復習:残った作業を進める
26週		復習:セルフチェック
27週	《技術検定用・丹前下》 裁断・印付け 縫製	
28週		
29週	《女物あわせ長着》 見積もり・柄・模様合わせ等 裁断・印付け 縫製 縫製 縫製 縫製 縫製 仕上げ	予習:生地・附属の準備
30週		復習:縫製の確認
31週		復習:縫製の確認
32週		復習:縫製の確認
33週		復習:縫製の確認
34週		復習:縫製の確認
35週		復習:セルフチェック

☆フィードバックの方法

作業段階ごとに個別に点検・指導を行う。提出課題には添削・採点後返却し解説を行う。

☆成績評価の方法・基準

授業態度	30%
課題	40%
試験結果	25%
検定試験	5%
企業研修	—

出席日数が2/3に満たない場合及び提出物が未了の場合は、再履修とする。授業の取り組み、課題の完成度などによる総合評価とする。

☆教科書及び参考文献

和裁(中級・上級編)

☆オフィスアワー

月曜日 09時50分～12時10分 13時10分～14時40分:20D教室

水曜日 14時50分～16時20分:20D教室

木曜日 13時10分～16時20分:20D教室

金曜日 10時40分～12時10分、13時10分～16時20分:20D教室

佐藤道子担当(実務経験あり)授業時数595時間

☆備考

日程及び授業内容は変更することもある。

デザイン画Ⅱ

担当鈴木英子 和裁士学科2年

☆概要

デザイン画を描くデザイナー（自分）の、服に対する気持ち・想い・個性が伝わるようなデザイン画を表現できるようにさらに描写力を上達させる。必修科目である。

☆授業のねらい

想いをあらわすために、布の動き方、量感、表情を描けるようにする。また服を細部にまで描くことのできる線の描き方も学ぶ。

☆目標

個性あふれる線の描き方、自分らしいデザイン画が描けるようになることを目指す。

☆授業計画

総授業時数 140 講義時数 40 実習時数 100

回数	授業内容	具体的内容(予習・復習等)
1回	《コンテストデザイン画》 デザイン考案、リサーチ	予習:デザインリサーチ
2回	(新人デザイナーファッション大賞) 着装画、着色	復習:作業確認
3回	《コンテストデザイン画》 デザイン考案、リサーチ	予習:デザインリサーチ
4回	(ドレメ全国ファッションデザインコンテスト) 着装画、着色	復習:作業確認
5回	《コンテストデザイン画》 デザイン考案、リサーチ	予習:デザインリサーチ
6回	(毛皮デザインコンテスト) 着装画、着色	復習:作業確認
7回	材質表現(レース)	予習:素材リサーチ
8回	材質表現(光沢のある布)	予習:素材リサーチ
9回	材質表現(皮革)	予習:素材リサーチ
10回	模写① テーマ素材にあわせてコレクションから描く	予習:作業資料用意
11回	模写② テーマ素材にあわせてコレクションから描く	予習:作業資料用意
12回	テーマデザイン テーマ「建築」	予習:デザインリサーチ
13回	テーマデザイン テーマ「素材加工」	予習:デザインリサーチ
14回	メンズプロポーション	復習:反復練習
15回	SMSDデザインショー デザイン画	予習:デザインリサーチ
16回	デザイン発想 テーマ「シンボリックイラスト」テーマ立案	予習:テーマリサーチ
17回	アイデア展開・コンセプト決定・デザイン案展開	復習:残った作業を進める
18回	ラフスケッチ	復習:残った作業を進める
19回	デザイン決定・レンダリング	復習:残った作業を進める
20回	着色	復習:作品の見直し
21回		各自の進行状況に合わせる
22回	特別授業(展示会&ショーのため)	復習:残った作業を進める
23回	オリジナル作品制作	復習:残った作業を進める
24回		復習:残った作業を進める
25回		復習:残った作業を進める
26回	《パネル作品》 パネル水貼り・デザイン考案	予習:資料収集
27回	アイデア展開	復習:残った作業を進める
28回	コンセプト決定・デザイン案展開	復習:残った作業を進める
29回	デザイン決定・レンダリング	復習:残った作業を進める
30回	パネルに下描き	復習:残った作業を進める
31回	パネル着彩	復習:残った作業を進める
32回	パネル着彩	復習:残った作業を進める
33回	パネル着彩	復習:残った作業を進める
34回	パネル着彩	復習:残った作業を進める
35回	まとめ・合評開	復習:作品の振り返り

☆フィードバックの方法

各作品添削の際に、コメントやアドバイスを記入して、次回以降の授業で返却する。

☆成績評価の方法・基準

授業態度	30 %
課題	70 %
試験結果	—
検定試験	—
企業研修	—

出席日数が2/3に満たない場合及び提出物が未了の場合は、再履修とする。授業の取り組み、課題の完成度などによる総合評価とする。

☆教科書及び参考文献

服飾関連専門講座④ ファッションデザイン画
GAP、各種ファッション雑誌

☆オフィスアワー

月曜日13時10分～16時20分：20D教室
鈴木英子担当

☆備考

日程及び授業内容は変更することもある。

きつけⅡ

担当佐藤道子 和裁士学科2年

☆概要

きつけの応用へと大切な必修科目である。

☆授業のねらい

着付けを通して、きものに新しい感覚でアプローチできるノウハウを学びます。

☆目標

盛装のきものを通し、様々な帯結びまで学び、コーディネート力を身に付ける。

☆授業計画

総授業時数 70 講義時数 20 実習時数 50

回数	授業内容	具体的内容(予習・復習等)
1回	《盛装の着方(自装)》	説明と作成
2回	体型補正 長襦袢の着方(盛装用)	予習:着付け道具を用意する
3回	長襦袢の着方(盛装用)	復習:着装の確認
4回	長着の着方(盛装用)	復習:着装の確認
5回	長着の着方(盛装用)	復習:着装の確認
6回	長着の着方(盛装用)	復習:着装の確認
7回	《帯結び(自装)》	予習:着付け道具を用意する
8回	お太鼓結び	復習:帯結びの確認
9回	お太鼓結び	復習:帯結びの確認
10回	二重太鼓結び	復習:帯結びの確認
11回	《盛装の着方から帯結び(自装)》	予習:着付け道具を用意する
12回	長襦袢・長着・帯結び	復習:着装の確認
13回	長襦袢・長着・帯結び	復習:着装の確認
14回	長襦袢・長着・帯結び	復習:着装の確認
15回	長襦袢・長着・帯結び	復習:着装の確認
16回	長襦袢・長着・帯結び	復習:着装の確認
17回	長襦袢・長着・帯結び	復習:セルフチェック
18回		各自の進行状況に合わせる
19回	特別授業(展示会・ショーのため)	復習:残った作業を進める
20回	オリジナル作品製作	復習:残った作業を進める
21回		復習:残った作業を進める
22回		復習:残った作業を進める
23回	《振袖の着方(自装)》	説明と作成
24回	体型補正(振袖用)	予習:着付け道具を用意する
25回	長襦袢着装	復習:着装の確認
26回	振袖の着方・ポイント	復習:着装の確認
27回	振袖の着方・ポイント	復習:着装の確認
28回	《帯結び(自装)》	予習:着付け道具を用意する
29回	ふくら雀①	復習:帯結びの確認
30回	ふくら雀①	復習:帯結びの確認
31回	ふくら雀②	復習:帯結びの確認
32回	《振袖の着方から帯結び(自装)》	予習:着付け道具を用意する
33回	長襦袢・長着・帯結び	復習:着装の確認
34回	長襦袢・長着・帯結び	復習:着装の確認
35回	長襦袢・長着・帯結び	復習:セルフチェック

☆フィードバックの方法

授業の中で質問に答えて、その都度解決していく。作業段階ごとに個別に点検・指導を行う。

☆成績評価の方法・基準

授業態度	30%
課題	70%
試験結果	—
検定試験	—
企業研修	—

出席日数が2/3に満たない場合及び提出物が未了の場合は、再履修とする。
授業の取り組み、課題の完成度などによる総合評価とする。

☆教科書及び参考文献

実技教本

☆オフィスアワー

月曜日 14時50分～16時20分:20A教室
佐藤道子担当(実務経験あり)授業時数70時間

☆備考

日程及び授業内容は変更することもある。

ディスプレイⅡ

担当鈴木英子 和裁士学科2年

☆概要

1年次で得た空間演出の基礎知識や技術をもとに、2年次では、各シーズンで設定したテーマを効果的にアピールする方法を研究し設計計画・オブジェ制作・演出など総合的に学ぶ、必修科目である。

☆授業のねらい

ディスプレイのプランニング・演出小道具の制作・ウインドウへのディスプレイ設置・ショーイングまでを体系的に習得する。

☆目標

商品や展示物を引き立てて魅力ある空間を演出できるようにする。

☆授業計画

総授業時数 140 講義時数 15 実習時数 125

回数	授業内容	具体的内容(予習・復習等)
1回	ディスプレイ① 春用にチェンジ ディスプレイについて説明	復習:ディスプレイを見直す
2回	《ディスプレイ②》初夏 企画立案、アイデア展開 デザイン決定 演出小道具制作	予習:テーマにもとづいて資料集め
3回		復習:残った作業を進める
4回		復習:残った作業を進める
5回	ディスプレイ② 初夏にチェンジ	復習:残った作業を進める
6回		復習:残った作業を進める
7回		復習:ディスプレイを見直す
8回	《ディスプレイ③》夏 企画立案、アイデア展開 デザイン決定 演出小道具制作	予習:テーマにもとづいて資料集め
9回		復習:残った作業を進める
10回		復習:残った作業を進める
11回	ディスプレイ③ 夏にチェンジ	復習:残った作業を進める
12回		復習:ディスプレイを見直す
13回		予習:テーマにもとづいて資料集め
14回	《ディスプレイ④》秋 企画立案、アイデア展開 デザイン決定 演出小道具制作	復習:残った作業を進める
15回		復習:残った作業を進める
16回		復習:残った作業を進める
17回	ディスプレイ④ 秋にチェンジ	復習:ディスプレイを見直す
18回		予習:テーマにもとづいて資料集め
19回		復習:残った作業を進める
20回	《ディスプレイ⑤》冬 企画立案、アイデア展開 デザイン決定 演出小道具制作	復習:残った作業を進める
21回		復習:残った作業を進める
22回		復習:残った作業を進める
23回	特別授業(展示会&ショーのため) オリジナル作品制作	復習:残った作業を進める
24回		復習:残った作業を進める
25回		復習:残った作業を進める
26回	ディスプレイ⑤ 冬にチェンジ	復習:ディスプレイを見直す
27回	《ディスプレイ⑥》梅春 企画立案、アイデア展開 デザイン決定 演出小道具制作	予習:テーマにもとづいて資料集め
28回		復習:残った作業を進める
29回		復習:残った作業を進める
30回	ディスプレイ⑥ 梅春にチェンジ	復習:残った作業を進める
31回		復習:ディスプレイを見直す
32回		予習:テーマにもとづいて資料集め
33回	《ディスプレイ①》春 企画立案、アイデア展開 デザイン決定 演出小道具制作	復習:残った作業を進める
34回		復習:残った作業を進める
35回		復習:残った作業を進める

☆フィードバックの方法

授業の中で質問に答えて、その都度解決していく。

☆成績評価の方法・基準

授業態度	30 %
課題	70 %
試験結果	—
検定試験	—
企業研修	—

出席日数が2/3に満たない場合及び提出物が未了の場合は、再履修とする。
授業の取り組み、課題の完成度などによる総合評価とする。

☆教科書及び参考文献

ディスプレイノート

☆オフィスアワー

月曜日09時00分～12時10分:20D教室

鈴木英子担当

☆備考

日程及び授業内容は変更することもある。

ブライダル

担当佐藤道子 和裁士学科2年

☆概要
最近の結婚のスタイルに即応できる人材育成のために必要な科目である。

☆授業のねらい
オリジナルウェディングの多様化に対応できる力を業界の現状を理解し身に付ける。

☆目標
ユーザーに対して的確なアドバイスのできるプランナーをめざす。またブライダルファッションプランナー検定試験合格を目指す。

☆授業計画

総授業時数 70 講義時数 70 実習時数 0

回数	授業内容	具体的内容(予習・復習等)
1回	《オリエンテーション》	業界の現状
2回		協会の認定する資格
3回		スペシャリストの役割
4回	《ウェディングの種類》	神前結婚式
5回		キリスト教結婚式
6回		人前結婚式
7回		シビルウェディング
8回	《日本のウェディングの歴史》	婚礼の歴史
9回		年代別の特徴
10回	《セレモニー・レセプションの現状とトレンド》	会場の多様化
11回		レセプションの変化
12回		セレモニーレセプションの専門用語
13回	《ファッションコーディネート》	各部名称と種類
14回		ドレス丈・トレーンの種類
15回		カラー・ネックライン・スリーブ・アクセサリ-の種類
16回		シルエット別コーディネート
17回	《フォーマルファッション》	ウェディングの場合の礼装
18回	《カラーコーディネート》	ウェディングカラーコーディネート
19回	《フラワーコーディネート》	ウェディングにおけるフラワー装飾について
20回		セレモニー会場・披露宴・パーティー会場の装花
21回		ウェディングブーケ・ブートニアブーケの形について
22回	《和装コーディネート》	打掛花嫁・新郎の紋付 名称
23回		振袖・留袖・中振袖について
24回	《フォトスタイリング》	美しい花嫁姿を残すために
25回		基本ポージング・移動時のポイント
26回		シーン別アドバイス
27回	《カップルアテンダントの方法》	ブライダルアテンダントについて
28回	《結納・婚約の現状とトレンド》	伝統としきたりに従った結納
29回		形式にこだわらない婚約式
30回	《マナー》	マナーの基本
31回		訪問・手紙のマナー
32回		食事のマナー
33回	《接客知識》	接客の必要性
34回		接客要素
35回	《専門用語》	ホテル式用語・ジュエリー用語

☆フィードバックの方法
授業内で不明点、質問などあれば、その場で対応する。

☆成績評価の方法・基準

授業態度	30 %
課題	—
試験結果	50 %
検定試験	20 %
企業研修	—

出席日数が2/3に満たない場合及び提出物が未了の場合は、再履修とする。
授業の取り組み、課題の完成度などによる総合評価とする。

☆教科書及び参考文献
ブライダルの基礎知識

☆オフィスアワー
金曜日 09時00分～10時30分：CAD室
佐藤道子担当授業時数70時間

☆備考
日程及び授業内容は変更することもある。

デザイン画Ⅲ

担当鈴木英子 和裁士学科3年

☆概要
各自のデザインテーマに合わせ、イメージ展開に必要な表現力・伝えるためのプレゼンテーション・アプローチといった表現力を知り、オリジナリティのあるファッションデザイン画を研究する。必修科目である。

☆授業のねらい
洗練された自由な創造力と発想力、その表現テクニックを向上させる。

☆目標
デザイナーとして必要な感性と創造力を身につける。テキスタイルが多種多様な昨今、重要な素材の表現力を画材の使い方、着色や線の描き方でさらに上達することを目標とする。

☆授業計画

総授業時数 140 講義時数 40 実習時数 100

回数	授業内容	具体的内容(予習・復習等)
1回	《コンテストデザイン画》 デザイン考案、リサーチ	デッサン10分 予習:デザインリサーチ
2回	(新人デザイナーファッション大賞) 着装画、着色	デッサン10分 復習:作業確認
3回	《コンテストデザイン画》 デザイン考案、リサーチ	デッサン10分 予習:デザインリサーチ
4回	(ドレメ全国ファッションデザインコンテスト) 着装画、着色	デッサン10分 復習:作業確認
5回	《コンテストデザイン画》 デザイン考案、リサーチ	デッサン10分 予習:デザインリサーチ
6回	(毛皮デザインコンテスト) 着装画、着色	デッサン10分 復習:作業確認
7回	画材の表現方法(アクリルガッシュ)	デッサン10分 復習:反復練習
8回	画材の表現方法(パステル)	デッサン10分 復習:反復練習
9回	デフォルメ画①(見せたい部位を誇張した表現法)	デッサン10分 復習:反復練習
10回	デフォルメ画②(見せたい部位を誇張した表現法)	デッサン10分 復習:反復練習
11回	コラージュ(効果的にイメージを伝える方法)	デッサン10分 予習:資料収集
12回	テーマデザイン テーマ「民族衣装」	デッサン10分 予習:デザインリサーチ
13回	テーマデザイン テーマ「アバンギャルド」	デッサン10分 予習:デザインリサーチ
14回	子供のプロポーション(90cm、110cm、140cm)	デッサン10分 復習:反復練習
15回	SMSDデザインショー デザイン画	デッサン10分 予習:デザインリサーチ
16回	デザイン発想 テーマ「群像画」 テーマ立案・アイデア展開	デッサン10分 予習:テーマリサーチ
17回	コンセプト決定・デザイン案展開	デッサン10分 復習:残った作業を進める
18回	ラフスケッチ	デッサン10分 復習:残った作業を進める
19回	デザイン決定・レンダリング	デッサン10分 復習:残った作業を進める
20回	着色	デッサン10分 復習:作品の見直し
21回		各自の進行状況に合わせる
22回	特別授業(展示会&ショーのため)	復習:残った作業を進める
23回	オリジナル作品制作	復習:残った作業を進める
24回		復習:残った作業を進める
25回		復習:残った作業を進める
26回	《パネル作品》 パネル水貼り・デザイン考案	デッサン10分 予習:資料収集
27回	アイデア展開	デッサン10分 復習:残った作業を進める
28回	コンセプト決定・デザイン案展開	デッサン10分 復習:残った作業を進める
29回	デザイン決定・レンダリング	デッサン10分 復習:残った作業を進める
30回	パネルに下描き	デッサン10分 復習:残った作業を進める
31回	パネル着彩	デッサン10分 復習:残った作業を進める
32回	パネル着彩	デッサン10分 復習:残った作業を進める
33回	パネル着彩	デッサン10分 復習:残った作業を進める
34回	パネル着彩	デッサン10分 復習:残った作業を進める
35回	まとめ・合評開	復習:作品の振り返り

☆フィードバックの方法
各作品添削の際に、コメントやアドバイスを記入して、次回以降の授業で返却する。

☆成績評価の方法・基準

授業態度	30%
課題	70%
試験結果	—
検定試験	—
企業研修	—

出席日数が2/3に満たない場合及び提出物が未了の場合は、再履修とする。
授業の取り組み、課題の完成度などによる総合評価とする。

☆教科書及び参考文献
服飾関連専門講座④ ファッションデザイン画
GAP、各種ファッション雑誌

☆オフィスアワー
月曜日13時10分～16時20分: 20D教室
鈴木英子担当

☆備考
日程及び授業内容は変更することもある。

きつけⅢ

担当佐藤道子 和裁士学科3年

☆概要

3年間のまとめと応用になり、短時間できれいに着付けるための大切な授業であり必須科目である。

☆授業のねらい

着付けを通しきものトータルコーディネートを学びます。

☆目標

ひとに着せる振り袖の着付け、基本結び、変わり結び等、様々な結びの技術を身につけることを目指します。

☆授業計画

総授業時数 70 講義時数 20 実習時数 50

回数	授業内容	具体的内容(予習・復習等)
1回	《女物ゆかたの着せ方(他装)》	予習:着付け道具を用意する
2回		復習:着装の確認
3回		復習:着装の確認
4回		復習:帯結びの確認
5回		復習:帯結びの確認
6回		復習:帯結びの確認
7回	《男物ゆかたの着せ方(他装)》	予習:着付け道具を用意する
8回		復習:着装の確認
9回		復習:着装の確認
10回		復習:帯結びの確認
11回		復習:帯結びの確認
12回	《ふだん着の着せ方(他装)》	予習:着付け道具を用意する
13回		復習:着装の確認
14回		復習:着装の確認
15回		復習:帯結びの確認
16回		復習:帯結びの確認
17回		復習:セルフチェック
18回	特別授業(展示会・ショーのため) オリジナル作品製作	各自の進行状況に合わせる
19回		復習:残った作業を進める
20回		復習:残った作業を進める
21回		復習:残った作業を進める
22回		復習:残った作業を進める
23回	《振袖の着せ方(他装)》	予習:着付け道具を用意する
24回		復習:着装の確認
25回		復習:着装の確認
26回		復習:帯結びの確認
27回		復習:帯結びの確認
28回		復習:帯結びの確認
29回		復習:帯結びの確認
30回		復習:セルフチェック
31回	《帯締め・帯揚げのアレンジ(他装)》	予習:着付け道具を用意する
32回		復習:セルフチェック
33回	《女袴の着方・着せ方(他装)》	予習:着付け道具を用意する
34回		復習:セルフチェック
35回	まとめ	

☆フィードバックの方法

授業の中で質問に答えて、その都度解決していく。作業段階ごとに個別に点検・指導を行う。

☆成績評価の方法・基準

授業態度	30%
課題	70%
試験結果	—
検定試験	—
企業研修	—

出席日数が2/3に満たない場合及び提出物が未了の場合は、再履修とする。
授業の取り組み、課題の完成度などによる総合評価とする。

きもの教本など

☆オフィスアワー

月曜日 14時50分～16時20分:20A教室
佐藤道子担当(実務経験あり)授業時数70時間

☆備考

日程及び授業内容は変更することもある。

卒業研究

担当佐藤道子 和裁士学科3年

☆概要

3年間学んだ集大成として相応しいテーマを個々に設定し、3コーディネイト以上の作品を製作する。さらに作品発表にむけてデザインにあうトータルコーディネイトを演出する。卒業に必要な必修科目である。

☆授業のねらい

卒研でデザインから製作までの流れをとおして経験し、デザイナー・和裁士・アドバイザーと職種にとらわれずあらゆる角度から着物にアプローチ出来るよう理解する。

☆目標

伝統の優美さと新しい感性を表現できる人材となることを目指す。

☆授業計画

総授業時数 770 講義時数 230 実習時数 540

回数	授業内容	具体的内容(予習・復習等)
1週	テーマ・デザイン考案、素材選択	予習:デザインについてリサーチ
2週	ポートフォリオ作成	予習:ポートフォリオ資料集め
3週	プレゼンテーション	予習:プレゼン準備
4週	《作品制作》卒研① 仮縫い用 裁断・印付け デザインチェック 作品用 裁断・印付け 縫製 縫製 縫製 装飾小物等製作 装飾小物等製作 装飾小物等製作	予習:シーチング(仮縫い用生地)順備
5週		予習:デザイン確認
6週		予習:生地・附属の準備
7週		復習:縫製の確認
8週		各自の進行状況に合わせた作業を進める
9週		
10週		
11週		
12週		
13週	《作品制作》卒研② 仮縫い用 裁断・印付け デザインチェック 作品用 裁断・印付け 縫製 縫製 縫製 縫製 装飾小物等製作 装飾小物等製作 装飾小物等製作	予習:シーチング(仮縫い用生地)順備
14週		予習:デザイン確認
15週		予習:生地・附属の準備
16週		復習:縫製の確認
17週		各自の進行状況に合わせた作業を進める
18週		
19週		
20週		
21週		
22週		
23週	《作品制作》卒研③ 仮縫い用 裁断・印付け デザインチェック 作品用 裁断・印付け 縫製 縫製 縫製 縫製 装飾小物等製作 装飾小物等製作 装飾小物等製作	予習:デザイン確認(仮縫い用生地)順備
24週		予習:生地・附属の準備
25週		復習:縫製の確認
26週		各自の進行状況に合わせた作業を進める
27週		
28週		
29週		
30週		
31週		
32週		
33週	《仕上げ》	セルフチェック
34週	モデルとフィッティング・トータルコーディネイト	予習:作品の見直し
35週	作品提出・ポートフォリオ提出	予習:作品の見直し

☆フィードバックの方法

各卒研、各アイテム作業段階ごとに個別に点検指導を行う。
ポートフォリオ・卒業作品を点検・採点后に返却し解説を行う。

☆成績評価の方法・基準

授業態度	30 %
課題	70 %
試験結果	—
検定試験	—
企業研修	—

出席日数が2/3に満たない場合及び提出物が未了の場合は、再履修とする。
授業の取り組み、課題の完成度などによる総合評価とする。

☆教科書及び参考文献

なし

☆オフィスアワー

月曜日 09時00分～12時10分、13時10分～14時40分:20D教室
水・木曜日 13時10分～16時20分:20D教室
金曜日 09時00分～12時10分、13時10分～16時20分:20D教室
佐藤道子担当(実務経験あり)授業時数770時間

☆備考

日程及び授業内容は変更することもある。